

愛知県拠点（豊橋市）



ミニトマト

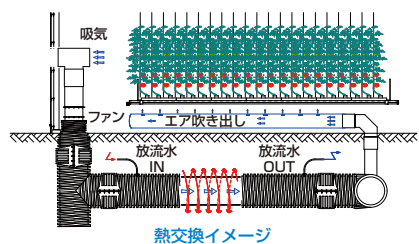
下水処理場
放流水熱

- 空調及び根域の複合環境制御技術によりミニトマトの収量21t/10aの安定生産の実現。
- 下水処理場の放流水の熱エネルギーの活用により化石燃料使用量を3割以上削減。



下水処理場・放流水

エネルギー供給設備の仕組



集出荷施設



コンソーシアム名及び構成員

名称	愛知豊橋次世代施設園芸推進コンソーシアム
構成員	イノチオみらい(株)、イノチオつなぐ(株)、(株)イデアル・アトレ、(株)アスペンフードプランニング、川村商事(株)、イノチオアグリ(株)、(株)サイエンス・クリエイト、JA 豊橋、JA あいち経済連、豊橋技術科学大学、愛知県、豊橋市

品目	面積	目標収量（単収）
ミニトマト	3.6ha	726t（21t/10a）

区分	事業実施概要
拠点整備	①温室、②下水処理場放流水の熱エネルギー供給設備、③種苗生産施設、④集出荷施設 を整備
技術実証	①複合環境制御（ミストによる飽差管理、炭酸ガス供給及び根域環境制御等）による周年高品質・高収量栽培の実証 ②放流水の熱エネルギーを利用した加温技術の実証
その他取組	地域ブランドの確立、農業後継者や新規就農者等の研修受け入れによる施設園芸の担い手育成等



高軒高多連棟ハウス



栽培設備



ミニトマト長期多段栽培

※上記の内容は、平成29年3月末現在のものです。